



シリーズ — ⑧
わが町再発見

りんごの収穫

町の特産品といえば、何といっても日本一のりんごがあります。十月下旬は、「シヨナゴールド」や「北斗」などの中生種の収穫期。この時期になると保育園児たちは、父兄の園地に行ってもぎ取りを楽しみます。
(ふたば保育園児)

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

11 | 1993
NOV.
月号
NO.444

さわやかな生活環境づくり

合併処理浄化槽で快適生活

町では平成元年に「朝日町合併処理浄化槽推進協議会」を設立し、平成二年度から設置事業を具体的に展開しています。これまで設置された数は、約二百基に達しています。今月は、合併処理方式に至った経過や今後さらに推進する上での課題について考えてみます。

進みつつある

生活排水処理

町では、さわやかな生活環境をつくり、清流のよみがえる町をめざして、平成二年度から生活排水の浄化対策として、合併処理浄化槽の設置を推進してきました。

これまでは、国（厚生省）の補助対象事業として平成二年度から平成四年度までに百九十五基を設置しました。事業実施以前に設置したモデル設置や事業所、官公所等は四十八基で合計二百四十三基（うち一般家庭と

事業所の合計は二百三十二基）となっています。

今年度の設置予定数は、七十基で現在すでに六十九基の申し込みがあります。これによって、大谷の集落排水と合併処理浄化槽による十一月一日現在の水洗化率は二十二・三％になっています。（その他単独浄化槽三百十五基は除く）

朝日町は自然環境には恵まれているものの、家庭から排出される生活排水は、昔から未処理のまま流されてきました。生活様式の多様化により、水質汚濁は年々進み水田への影響や環境衛生面で心配される状況です。

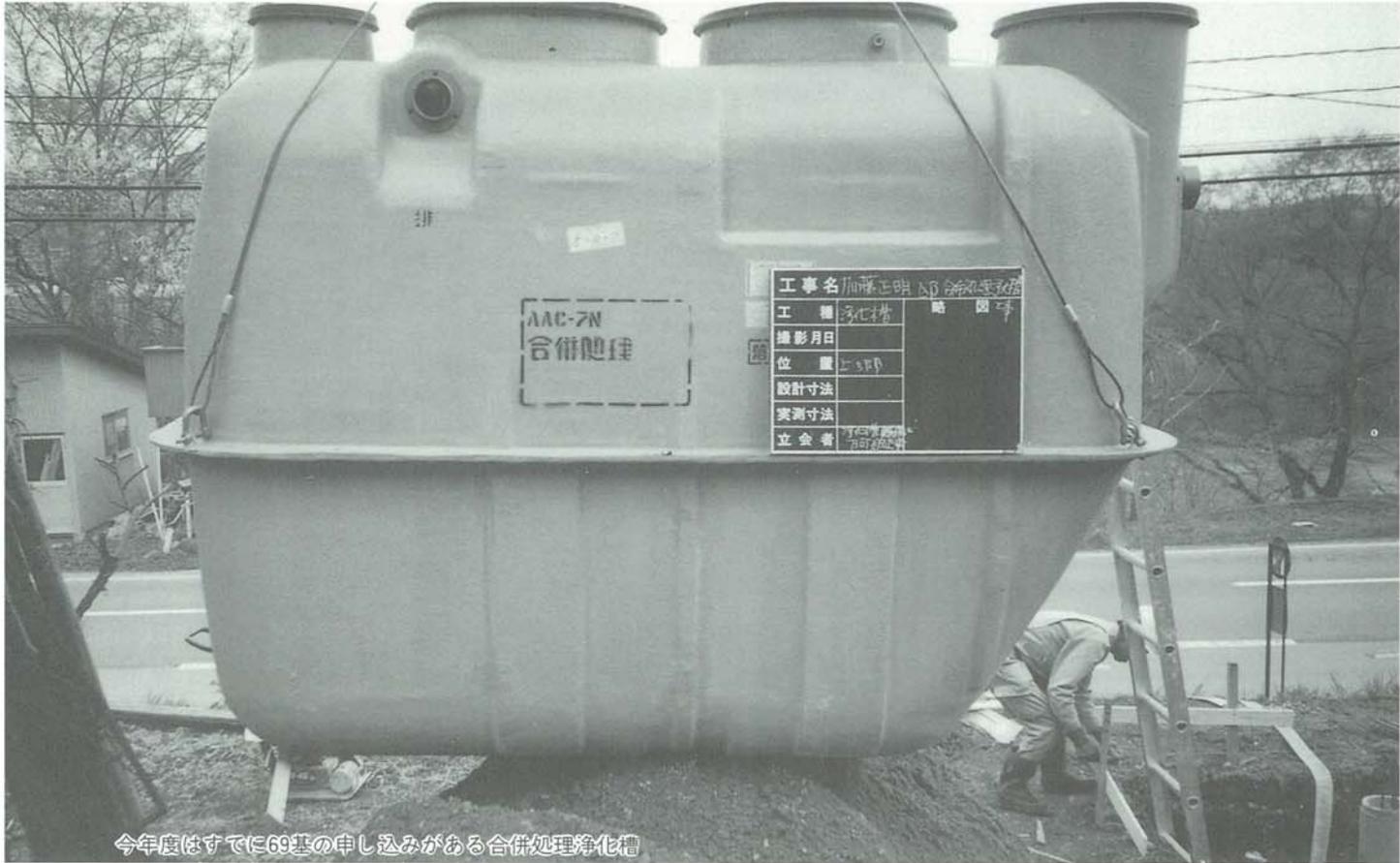
生活排水は、最終的には最上川に流れ込みます。朝日町より下流部においては、最上川を飲料水の水源とした二カ所の浄水場があり、中山町、山辺町、山形市の五割を越える地区が飲料水として利用しています。これらのことを総合的に考えると、生活排水対策について十分に検討する必要があります。

急がれた大谷地区 以外の下水対策

大谷地区（第一～第六区）は、生活排水の処理施設整備事業にいち早く取り組みました。大谷



宮宿地区の約半分の下水が流れ込む助ノ巻川
白いアワは合成洗剤などによる汚れ

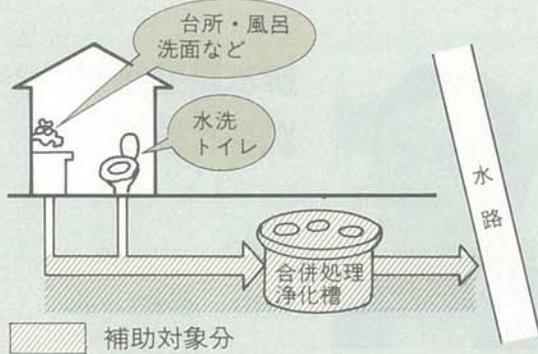


今年度はすでに69基の申し込みがある合併処理浄化槽

■平成5年度合併処理浄化槽概算設置費用

(単位：千円)

人槽別	Bタイプ設置費用	町補助金	設置者負担金
5人槽	約1,170	580	約590
6人槽	〃1,250	610	〃640
7人槽	〃1,400	710	〃690
8人槽	〃1,550	800	〃750
10人槽	〃1,800	980	〃820



地区は平坦地の上、住宅が密集し、地区内を二本の水路が流れており、生活排水はこの水路に流されていきました。夏期の水量が少なくなる時期は悪臭や蚊、ハエ等の衛生害虫の発生源となっていました。そのため早急な下水対策が必要との結論に達し、農林水産省の農村総合整備モデル事業で、約三百世帯が昭和五十六年六月より大谷地区集落排水処理施設を整備し、供用を開始しています。

た中、昭和六十二年に役場関係課による下水道プロジェクトと町議会に下水道問題特別委員会が組織され、町の生活排水対策のあり方について検討が開始されました。

合併処理による下水対策決定

わが町のように、自己財源に乏しい地方自治体にとって、一番の問題は経費負担です。生活排水処理に関する整備の補助事業は、建設省の公共下水道事業、農林水産省の農業集落排水事業、厚生省の合併処理浄化槽設置整備事業の三つの事業があります。たとえ宮宿地区（人口二、五〇〇人 六〇〇世帯）で、公共下水道を整備した場合の昭和六十三年の試算は、総事業費で十三億七千五百万円。工事期間は、すぐに実施したとしても七年くらいはかかりました。また、この間財政的な事情で他地区の整備が進まないということもありました。

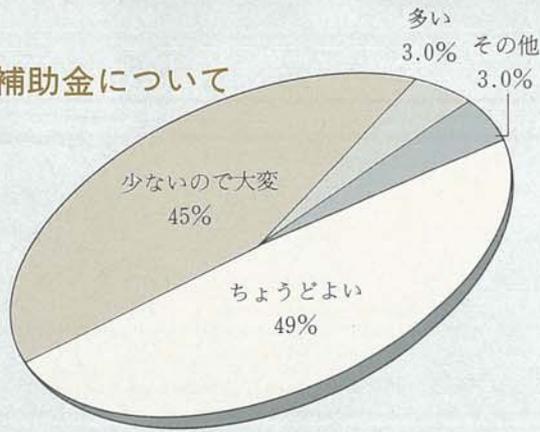
三つの事業について、総事業費や設置者の負担金及び維持管理費など、総合的な検討を重ねた結果、公共下水道と農業集落排水事業は、

①公共下水道では財政的負担も大きく、他地区での農業集落排水事業等の同時進行が困難。

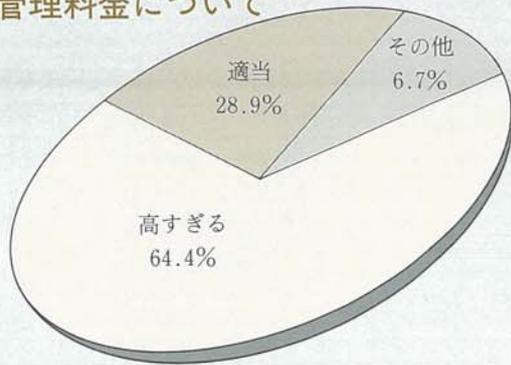
②地域の形状や住宅の散在からみると、集中処理は下水管の延長が長くしかも、深くなるので投資効率が悪い。一方合併処理浄化槽設置整備事業は、

③水路が有する自然の浄化能力を利用することで、町の自然環境を守ることもつがる。

◇設置補助金について



◇維持管理料金について



■合併処理浄化槽年間維持管理費(電気料除き)

(単位：円)

人槽別	保守点検(4回)・清掃ほか	備考
5人槽	約43,000	年1回の法定検査費5,000円を含む
6人槽	〃 44,000	
7人槽	〃 46,000	
8人槽	〃 47,000	
10人槽	〃 49,000	

設置費用と排水路整備がネック

などのことから町での生活排水対策は、合併処理浄化槽で整備することが最も適しているとの結論に達し今日に至っています。

合併処理浄化槽の設置計画は、平成二年度から十年間で二千基となっております。平成二年度から四年度までの三カ年の設置計画基数は二百基でした。一般家庭等で設置済み基数は、二百九基と計画基数を上回っています。

しかし、今後七年間で残り基

今年度の二月に、平成二年度と三年度に合併処理浄化槽を設置した方を対象に、アンケート調査を行いました。その結果、回答者の九八%の方が設置して良かったと回答しています。設置して良かった点として、トイレの臭いがなくなり快適で、子供も老人も安心して使える。害虫もいなくなり排水溝がきれいになったことなどを上げています。反対に悪かった点としては、維持費が高つく、油の処理が大変、浄化槽の耐久性が心配な

排水路整備は計画的に

数を整備するためには、解決しなければならぬ課題が様々あります。一つは、合併処理浄化槽の設置工事費の外に、水回り工事や増改築費などに大きな費用がかかるということ。二つめは、排水路を整備しないと放流できないところがあるということ(特に宮宿地区)。三つめは、設置する敷地がないことなどがあります。合併処理浄化槽の設置工事費及び維持管理費は、表のとおりです。町では、できるだけ設置者の負担を軽減するため、設置費用の半額程度を補助しています。



ある程度の維持費はやむを得ないのでは

(新宿)
今井綾子さん

わが家の場合は、住宅の新築に併せて平成二年に四人家族でしたが、七人槽の合併処理浄化槽を入れました。

快適で衛生的な事はもちろんですが、洋式にしたのでおばあちゃんがとても楽になったと喜んでます。わたしにとっては、掃除が楽になったのがありますね。

ある程度の維持費として、水道料や電気代、保守点検代などお金はかかりますが、快適な生活をするためにはやむを得ない面もあると思います。



排水路整備で次々と設置

(本町)
村山 長助さん

わたしたちの地区は、合併処理浄化槽を設置したくとも排水路が整備されていないのでなかなか進みませんでした。

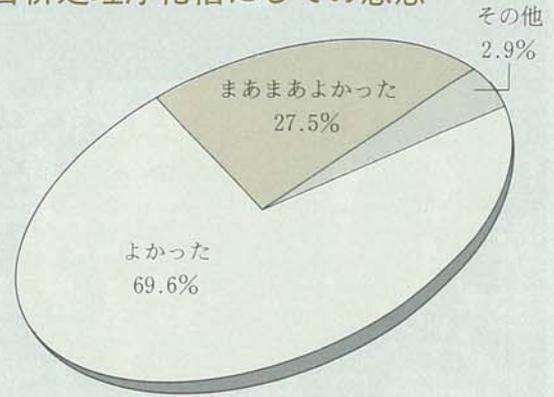
それが昨年、道路両側の側溝を整備し生活排水を流せるようにしていただいたところ、十六軒の隣組のうち今年だけで七軒が設置しました。次々と連鎖反応のように設置したのは驚きました。

お陰で、ハエや蚊が見られなくなりました。きれいになってみると、以前はよく我慢していたものだと思いますね。

合併処理浄化槽について

- 実施時期 平成5年1月
- 調査対象 121件
- 回答数 69件
- 回収率 57%

◇合併処理浄化槽にしての感想



どでした。

また、町からの補助金については、多いが三%、ちょうどよいが四九%、少ないが四五%、その他が三%となっています。現在の町から各戸に支出している補助金で、平均的設置費用の約五割が賄えるようになっていきます。

今後、合併処理浄化槽を普及させるためには、どんな手立てが必要かの質問では、排水路の整備、設置補助をもっと多く(工事費をもっと安く)、維持管理費を安く、設置後の効果のPR、集落単位での積極的な推進、各地区の排水路の汚れた状況の認識をみんなに持ってもらうなど

のご意見がありました。

設置基数が増えない原因になっている排水路については、年次計画で整備中です。急務とされる宮宿地区についても排水の現状を調査するため、平成二年度に排水路の測量調査を行い、改良計画に基づき緊急度の高いところから排水路を整備していきます。また、敷地問題については、何軒か共同で設置できるよう現在推進中です。

さわやかな生活環境をめざして

水洗トイレは高齢化に向かっている今、老人や介護者にとつ

ても快適、衛生的に用が足せるように今から取り組まなければならない問題です。

また、生活排水対策は地球を汚染し、消費しながら生活しなければならぬ我々人間の一番身近な環境対策でもあります。協議会では合併処理浄化槽の設置推進のほか、設置済みの方が維持管理への意見を反映できるように維持管理体制づくりについても、充分検討を重ねているところです。

町では、これからも朝日町合併処理浄化槽推進管理協議会と共に、合併処理浄化槽の設置推進と適正な維持管理体制づくりを努めたいと考えています。

「さわやかな生活環境の町」をめぐり、清流のよみがえる町をめぐらして、一層の推進を図りますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、平成六年度に合併処理浄化槽設置をご検討の方を対象とした、設置予定者説明会を平成六年一月頃に開催する予定です。詳しくは後日の「お知らせ」でご案内します。説明会前に住宅の新、増改築を予定される工事契約を結ばれる場合には、役場保健課衛生係(☎67-2111)までご相談下さい。



台所は三角コーナーと網の二重セット

(常盤)
大井みちよさん

おじいちゃんの丈夫なうちに、洋式トイレにしたいと思い昨年設置しました。家族は四人でしたが、お客様が来たときのことを考え八人槽を入れました。衛生的になってとても喜んでます。

台所から流れるものについては、三角コーナーと網を二重にセットしているの、それほど心配はないようです。

欲を言えば、大勢の人が集まったときに一時的に処理能力を高められる装置や薬品があれば申し分ないのですが。



衛生的になって子供たちが喜んだ

(真中)
庄田美喜子さん

合併処理浄化槽は、子供達からの強い要望で平成三年に設置しました。

でも、今は設置してよかったと思います。商売の関係で人数より大きめのものを設置したのですが、何と言っても衛生的になってハエがいなくなりましたね。

その時洗面所とお風呂、トイレと一緒に改築したので大部お金はかかりました。でも思い切って直してよかったと思っています。きれいになって一番喜んだのは子供たちですね。

平成5年度

11個人
1団体

朝日町教育功労者表彰



受賞者のみなさん

町の教育の分野で長年にわたり貢献されたみなさんに十月十九日、町教育委員会より教育功労賞が贈られました。受賞された方は、次の十一名の個人と一団体のみなさんです。おめでとございませう。

鈴木政巳氏（松程 58歳）

昭和五十六年以来、朝日町柔道スポーツ少年団の指導者として活躍。その間四年にわたり、スポーツ少年団本部長として社会体育の振興発展に貢献されました。

鈴木隆一氏（元町 42歳）

昭和五十七年以来宮宿剣道スポーツ少年団の指導者として活躍。子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

富樫要悦氏（大町 38歳）

昭和五十七年以来宮宿剣道スポーツ少年団の指導者として活躍。子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

堀 幸雄氏（大暮山 40歳）

昭和五十四年以来白倉スキースポーツ少年団の指導者として活躍。子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

菅井善雄氏（沼向 37歳）

昭和五十七年以来和合ミニバスケットボール少年団の指導者として活躍。子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

長岡 孝氏（大町 32歳）

昭和五十七年以来朝日町卓球スポーツ少年団の指導者として子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

阿部千尋氏（夏草 36歳）

昭和五十七年以来朝日町卓球

スポーツ少年団の指導者として活躍。子供達の健全育成と競技力向上に貢献されました。

若月吟子氏（西船渡 61歳）

平成元年より四年間にわたり朝日町連合婦人会副会長に就任され、生涯学習の推進に貢献されました。

小野清次氏（大谷七 82歳）

昭和六十三年より六年間にわたり、北部陸大学学長として高齢者の教養を高める活動を積極的に展開し、高齢者の社会参加の推進に貢献されました。

佐竹千代雄氏（八ッ沼 40歳）

昭和五十年より十八年にわたり、朝日町青少年育成推進員として青少年の健全育成に貢献されました。

阿部宗一郎氏（常盤 70歳）

子供達が読書を通して心豊かな人間に成長することを願い、西五百川小学校（昭和五十七年百万円）、立木小学校（昭和五十九年百万円）にそれぞれ宗生文庫基金を設立。以来児童一人一冊以上の図書購入資金の寄贈を続け、学校教育の振興に貢献されました。

大谷若妻会

昭和五十三年北部体育館建設以来冬期間を除く、毎月第三日曜日に体育館周辺環境整備を続けています。

子供会の資源回収に 助成金



西町子供会の資源回収

各地区の子供会で行われている資源回収活動に、町より助成金が支給されることになりました。

これは、資源回収活動を奨励しごみの有効活用を促進と子供達の健全育成をねらいとしているものです。

助成金の交付は、今年の四月にさかのぼって、子供会の人割と回収した資源の量により算定した合計により交付されます。詳しくは役場保健課へお問い合わせください。

町消防団の団旗を新調

町消防団のシンボル、団旗が四十年ぶりに新調されました。これまでの団旗は、朝日町誕生の昭和二十九年に購入されたもので、刺繍やモールのほつれなど傷みがひどくなっていました。新しくなった団旗は、これまで同様縦六八センチメートル、横一〇〇センチメートルの正絹塩瀬本刺繍で、国花の桜にまといをデザインしたものです。



清野町長より真新しい団旗を受けとる渡辺団長

秋の叙勲

前町長
小林富蔵氏に
勲五等双光旭日章



毎年、文化の日に発表される秋の叙勲で、前町長の小林富蔵氏（大沼・75歳）が勲五等双光旭日章を受章されました。

小林氏は朝日町誕生前の大谷村教育長をはじめ、朝日町初代教育長を十二年七カ月、助役を七年五カ月歴任されました。さらに、昭和五十一年から四期十六年にわたり、朝日町長として常に町民の先頭に立ち、卓越した識見と指導力で町民福祉の向上に尽力されました。

これら長年にわたり、地方自治の振興発展に大きく貢献されたことが認められ、この度の叙勲の栄に浴されたものです。おめでとうございました。

町民の声特急便コーナー

町民のみなさんより、お寄せいただいたご意見・提言を紹介いたします。

白田後援会を

つぐれないか

大 相撲の朝日町出身の白田（本名白田健）の後援会をつくれないうか。

阿部功一（今平・53歳）

白田君には、郷土の名誉のためにも頑張ってもらいたいと思います。町民のみなさんも入幕を心待ちにしていることと思います。後援会については、必要と思われませんが、具体的にはもう少し検討してみる必要があると考えます。（町長）

期限を付けた答弁を

「前 向きに」「そのうち」「善処する」。町への要望や陳情のおりよく耳にする言葉です。この表現がわたしたちにはその場のしのぎの答弁に聞こえます。岩國哲人出雲市長は、必ず期限を付けイェス、ノーをその場ではっきり返答すると言います。冒頭の言葉で宙づりにするよ

りも、返答には必ず期限を付けて店晒しにしないようにお願いしたいものです。

遠藤貞悦（栗木沢・51歳）

できるだけ、ご意見のように明言できるように心掛けたいと思います。（町長）

国道287役場前の

カーブ改良

国道287の役場前の十字路の改良をお願いします。特に、白鷹方面に左折する大型車の場合カーブの角度がきつく、役場敷地の植え込みにより見通しも悪く危険なように思います。役場敷地を道路用地とし、ゆるやかなカーブにしてください。鈴木弘義（大町・50歳）

近くに嫁ぐ良さを家庭でも

先般、役場内に定住係が新設され、今後の成果を期待する者の一人です。これと併せて、結婚問題を解決するには、次のようなことを心掛けてはいかがでしょうか。①娘さんをもつ家庭では、近くに嫁ぐことよきについて家族みんなで話し合う。②男性は、若いうちからいろいろな行事に積極的に参加し、女性とふれあう機会をできるだけ多く持つ。

宮宿の中心に公園を

町には公園が少ないように思えます。子供と一緒に遊べるような公園が近くにあれば、

散歩をしたり日光浴もできるのですが。そういう憩いの場を是非つくってほしいと思います。鴨田一美（大町・28歳）

各集落には、農村公園などを整備しております。宮宿地区には緑が丘公園を整備中で、多くの町民の方にご利用いただいているところです。中心部には利用できる土地が少なく、当分の間緑が丘公園をご利用ください。（建設課）

わたしは、町内にはすでに十分な男性が大勢いると思います。阿部隆夫（常盤・64歳）

貴重なご意見ありがとうございます。

・安らぎを生活に

彩文化祭

わたしたちの生活の中に、潤いと安らぎそして、生きがいを与えてくれる芸術文化活動。その一年間の活動の発表の場が芸術文化祭です。

深まり行く秋の11月3日、4日の両日にわたり第29回朝日町芸術文化祭が町中央公民館と西、北部公民館を中心に華やかに開催されました。

また、朝日中学校や朝日分校でも学校祭が開催され、町民みんなが文化の息吹にひたりました。



◀着物姿がかわいらしい日本舞踊の発表会 (町芸文祭)



子供たちのピアノ演奏発表会 (町芸文祭)



生活に安らぎを与える華道展 (町芸文祭)



町体育館の展示会場は自慢の盆栽・書・絵・写真などでいっぱい



今年も美しいハーモニーを披露する「朝日ママさんコーラス」

香り・潤い

秋と



高校生たちのカラオケ大会 (朝日分校「曙光祭」)



盆栽の整枝や針金かけの実演 (町芸文祭)



「音」をテーマにした演劇 (朝日中学校祭)



大正琴の3部合奏を披露する大正琴の会 (町芸文祭)

お茶会▶
(町芸文祭・町中央公)



すっかりおなじみになった劇団「りんご村から」の公演。今年で七回目。(町芸文祭前夜祭)





■連絡先

役場企画情報課

企画広報係へ

☎67-2111 (内222)



李鵬中国首相と記念撮影をする菅井さん(右から3番目)

ボランティア活動認められる

菅井功さん(沼向)中国より表彰

中国で、りんご栽培技術の指導者として活躍している菅井功さん(沼向・65歳)に、またひとつ大きな賞が中華人民共和国政府より贈られました。

菅井さんは、中高年を中心とした海外での技術協力組織、日本シルバールボランティアーズの会

員として、中国各地でりんご栽培の指導にあたられています。この度贈られた「友誼獎章」は、中国の近代化に各分野で協力されている外国人や華僑に授けられるもので、外国人に贈られるものとしては最高の榮譽のものです。現在これら近代化に

協力している外国人は、十三カ国四万人に上るといわれています。そのなかで九月二十七日に受章した方は、四十名(内日本人十三名)でした。

菅井さんは「わたしが中国へ行くのは、隣国同士の友好に少しでも役立つたい気持ちからです。体力の続く限り行きたい」と話してくれました。菅井さんのボランティア活動は、当分続きそうです。



阿部さんに消火器を手渡す清野町長

一人暮らし老人や老人家庭に、防火の呼びかけと万一火災が発生した場合、被害を最小限に食い止めてもらうと、消火器のプレゼントが行われました。

十月十五日に行われた贈呈式では、清野町長が阿部ふじのさん(81歳・立木)宅を訪れ「愛の消火器」と名付けられた十型の粉末消火器を手渡しました。

今年には十本の消火器を配布することになっていますが、残りの九本については、地元の消防団員が使用方法を説明しながら配布します。

愛の消火器プレゼント



曲淵/長岡 大輔くん
(立木小三年)

長岡 正昭さん
(62歳)

光子さん
(59歳)

ほくのおじいちゃんおばあちゃん

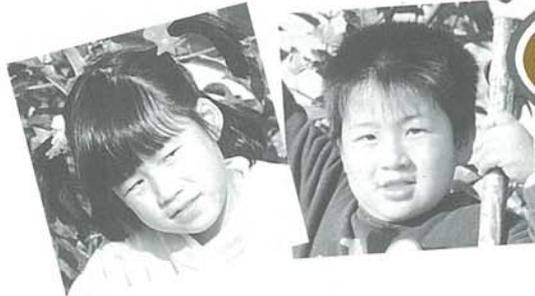
ほくのおじいちゃん毎日おそくまで働きます。ほくたちが休みの日も働いてつかれないのかな。でも、ほくが「たつきゆうに行くべ」というとすぐにつれていってくれます。

おばあちゃんは、学校からかえると「おやつか」と言っですぐに出してくれれます。

お母さんがおそいときは、おいしいごちそうを作ってくれます。二人とも体に気をつけていつまでも長生きしてください。

大輔

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。



浅岡清二郎さん
(西町・37歳)

ひとことトーク

いろいろな角度から町を見つめよう

～ふる里SÄIKŌを企画して～

今回、六名のパネラーの方々と、参加者の皆さんから日頃生活している朝日町について様々な考えや感想を発表していただき、町を再考してみました。会も大いに盛り上がり参加者の方々は、いろいろな朝日町の姿を思い描いたことでしょう。私自身感じたことは、この町をもっと多くの角度から知る必要があるということでした。「よい所、悪い所」を知り、そして考えることが、この朝日町を今まで以上に好きになれることなのだと思います。

この町が最高だと思えるようこれからも努力したいと思っています。今回参加して下さった方々、運営に携わって下さった方々に感謝申し上げます。



川べりの里川通の東北にそびえる明神山から望む日の出は、身のひきしまる感動を覚える。神々しいまでに輝く、朝日のかかる山のすそに広がる和合の村は、もう眠りからさめて活気に満ちはじめている。

明治二十六年九月二十九日、和合の農家、佐藤兵七・らく長男として生れた兵左衛門は、幼時から物覚えが良く、行動的な性格であったという。

大正七年春、東五百川村農会主任書記となり、各地で研修を重ねて昭和二年から技術者指導員となり農業振興につとめる。

当時（昭和初期）すでにりんご栽培の将来性を見抜き、自ら

ふるさと人国記 43

佐藤兵左衛門

りんご主産地形成の先駆者

栽培に取り組み、特に苗木導入に力を入れ、昭和七年にはゴールデン・デリシャスを試植している。その後も多くの品種を植えて他への奨励を重ねている。

昭和二十三年、宮宿町農業会を退職し直ちに宮宿農業協同組合監事となり、以来二十余年にわたって組合運営の改善につくした。この間、専務理事としてその重責を自覚し、農協合併や農業構造改善事業の推進に大きな役割を果たした。

昭和四十二年九月、県知事より山形県農業賞が授与された。その賞状に、「あなたは立地に即して先駆的にりんご栽培の奨励普及に努めるとともに優良品種の導入と栽培技術の指導など果樹主産地形成の推進を通じて本県農業の振興に寄与された」と書かれている。

それから二年後の昭和四十四年九月八日夕刻、多くの業績を残してその生涯を終る。享年七十七歳。

文・杉ひさし



40名ほどの参加者が活発な意見交換を展開

町の良さを見直そう

「ふる里SAIKOきみは
この町が好きか」

朝日町商工会青年部・婦人部主催

わたしたちの住む朝日町を最高の町にするため、最近転入して来た方の目を通して町を再考してみようと、パネルディスカッションが十月二十三日西部公民館で行われました。

当日は、高校生二名と四名の転入者による朝日町見直し論が盛り上がりました。転入者からは「朝日町の自然環境のすばらしさが気に入った」「思いやりのある町民性に触れられた」などのよい点が出されました。その反面「賃金が安すぎる」「夜が暗すぎる」など今後改善しなければならぬ点も出されました。

また、フロアーの参加者からは「農業とサラリーの方の収入があるので何とか暮らしていけるが、どちらか一方だけの暮らしでは厳しいのでは」「町民性がおとなしすぎる。発想の転換をして町を眺めると、町は宝の山だ」などの意見が次々発表され、活発な話し合いが展開されました。

今回の催しを企画した町商工会青年部では、今後もこれまでの固定観念にとらわれない、町の新たな発見を行いたいと張り切っています。



国際交流を深めたあめっかぜのメンバー

あめっかぜ

やさしさをアジアの人たちへ

'93年アジア障害者国際音楽祭参加

障害者を励ます活動を続けている町のフォークコーラスグループ「あめっかぜ」が、'93アジア障害者国際音楽祭の関連イベントに出演しました。2年に1度開催される同音楽祭は、今年は韓国のソウルで10月13日から17日まで開催されました。

今回の音楽祭への参加は、2年前に朝日町へボランティア青年として訪れた金福漢キムボクハンさんの依頼によるもの。金さんは、音楽祭実行委員会の事務局員として活躍されています。

松田昌弘代表を団長とした一行16名は、14日から18日の4泊5日の日程で関連イベントの障害者歩き大会やさよならパーティーなどに参加。オリジナル曲の「この町が好き」「よく笑うお母さん」などを韓国語で披露し国際交流を深めました。

まつたけ 松茸は地区民みんなの宝

第3回 栗木沢松茸まつり



松茸酒で乾杯(栗木沢集荷場)

第三回栗木沢松茸まつりが十月二十四日、公民館に幼児からお年寄りまで大勢の区民が参加し行われ、松茸の味と香りを心ゆくまで楽しみました。栗木沢では、四年前から区有林七十ヘクタールの一部に自生していた松茸を区管理とし、収穫した松茸を区民の親睦と融和に役立てています。今年の収量は松茸が五十一本、大きいものは二八〇グラムもありました。これらの松茸は、一升瓶十本の「松茸酒」と全戸への「松茸ふかし」に調理され、区民に振舞われました。区では、国道沿いに「松茸の里栗木沢」という大きな看板も掲げ、これから松茸による村おこしに力を入れたいと意気込んでいます。



伊豆権現のまつりと種時き桜

ふるさとめぐり
〈40〉

伊豆権現の

種時き桜

栄町

宮宿の南西部に位置する栄町は、旧米沢街道沿いにできた戸数七十六戸の新興住宅地です。昔は、宮宿小学校まで見渡す限りの田園が広がっていました。その後、役場が現在の場所に移転し、パイパスが通ると、病院や農協をはじめ、いろいろな事業所が集まり、まさに「朝日町のへそ」へと発展しました。新しいものばかりではありません。宮宿町の頃から名所として

て知られる、樹齢六百年程の、伊豆権現様の種時き桜があります。この桜の花が咲き始める頃に、水稻の種を蒔いたことから種時き桜と言われています。また、ここは子供達の恰好の遊び場だったそうです。桜の木に登って遊んで落ちても、不思議とけがをしなかったとか。権現様のご利益があったのででしょうか。遠方から眺めれば、白雪の大山を見る様だと言われた種時き桜。今は建物の影となっていました。根元にはコケが生え、枝を四方にのびし、今もなお私達を見守ってくれているようです。(松田栄子 広報委員)



西村山林業まつり

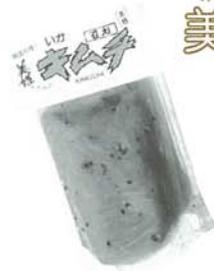
多くの人に西山材の良さと、林業について理解を深めてもらおうと10月17日、役場前の駐車場で西村山林業まつりが行われ、5,000人を越す人たちににぎわいました。

この祭りは、西村山の市町が持ち回りで毎年開催しているもので今年は朝日町が会場となりました。

当日は、西山材を使った座卓や花台などの木工品や親子木工教室、緑のプレゼントなど盛りだくさんの催しが行われ、一日中木の温もりを楽しみました。

本場の味

美姫ちゃんキムチ



山形市内のデパートで試販する渡辺美姫さん

韓国料理に無くてはならないキムチ。このキムチを町の特産品として売り出そうと、古樫の渡辺美姫さんが本場仕込みのキムチ漬けをつくっています。

美姫さんのつくるキムチは、味付けの材料を韓国の両親から取り寄せ、自らが味付けをする本物のキムチ。種類も白菜キムチ、きゅうりキムチ、いかキムチの三種類があり、辛さの中にも下味の効いたうま味のあるキムチにできあがっています。また、科学調味料は一切使っていないので、健康食品として、食欲増進には持つて来いのキムチ漬けです。

「今後は、売れ行きをみなから販売ルートの開拓や製造設備の充実に入力したい」と美姫さんは張り切っています。

あけび料理いろいろ

町食生活改善推進

協議会あけび料理発表

アケビ料理を若い人に伝えようと、町食生活改善推進協議会のアケビ料理研究グループによる発表会が十月十四日町中央公民館で行われました。

この日は、二十名のグループのうち十二名が生アケビを使った詰め物や煮物、天ぷらなど自慢のアケビ料理をつくりました。グループでは、料理の仕方を冊子にまとめ、だれでもほろ苦



あけびの料理研究グループのみなさん



家庭の役割・学校の役割

時代変化に応じた教育環境

「十年一昔」といいますが、本当にそのようです。十年前に何を考えていたのだろうか、ととってもなかなか思い出せないものです。同じように、どんな時代で、何が起っていたのだろうか

と考えても、これもなかなか思い出せません。

最近のように、めまぐるしく世の中や、価値観が変わり始め、次々と歴史的な大事件が起ると「十年一昔」ではなく「五年一昔」だという人がいるぐらいです。五年前の「昭和天皇の崩御」「消費税の導入」「なだしおの事故」。十年前の「秋田沖地震」「比例代表制導入」「三宅島噴火」をはつきり覚えていて人は何人ぐらいおられるでしょう。本当に

世の中が一気に変わりつつあるというのが実感です。



会社や銀行の週休二日が広まったかと思うと、役場も続き、とうとう学校においても週休二日制が始まりました。

小学校では、「生活科」ができ、中学校では、今年から業者テストが廃止になり受験生をあわてさせています。

高校での新しい「情報・コンピュータ」関係の学科の新設や、新しい「単位制」の高校創設の動きなど、新しい試みがどんどん進んでいます。大学入試における目まぐるし

い改革は、もう一般の人にはついていけない程です。



家庭においても、昔は子供が四人、五人いるのが普通で、多い家だと十人近く子供のいる家庭も珍しくなかったくらいです。しかし今は、子供の数が平均で、二人以下だということ。一人っ子の家庭や二人の家庭が普通です。「長男・長女の時代」といわれるのも、あながち不思議ではありません。

こうなると、子供についての親の考え方もどんどん変わってきています。昔のように、親には自然に威厳があり、子供をたたいたり、なぐったりして厳しく躾をしようと思う親は減り、ただ子供に自主性を尊重しながら、一緒に楽しく、協力し合

って生活しようという家庭が多くなってきたようです。

これは大切なことで、体罰で子供が良くならないことは、誰もが認めることです。しかし体罰でない躾について、まだしっかりと方法が家庭で見つからないようです。

「大谷風」優勝

第10回
アップル町民駅伝大会

駅伝日和に恵まれた十月十日、第十回アップル町民駅伝大会が町内三一・九キロメートルの十三区間に十四チーム、百八十二人の選手が白熱のレースを展開しました。

レースは大谷風チームが終始リードする形で展開され、追いつがる和合を振り切りそのままゴールに飛び込み初優勝を飾りました。

■成績

- ①大谷風②和合③沢内④上郷
- ⑤宮宿⑥三中



初優勝を果たした「大谷風」チームと「大谷神」チーム



朝日中 | 年生の葉山登山は人気行事のひとつ

朝日町でも十六年前に朝日中に統合される以前は、西五百川中では長髪が可だったと聞きました。

先生方も頭髪が自由な他の中学校で教えられた経験のある方も多く、長髪が教育上何の支障もないことは経験からも十分に知っておられると思います。

もちろん、生徒達は自由を望んでいる者も多く、自由だった小学校から中学校に入るために丸坊頭にする時に、悲しい思いをしている子もいると聞きました。

こう考えると、朝日町で頭髪を自由にするために、親と子と学校が皆で話し合って、解決する時期にきていると思います。

校則の問題は、もちろん学校の判断で行われることですが、決まったことについては家庭でも協力していかなければなりません。時代は変わり、家庭と学校、地域の関係も少しずつ変化してきています。いつまでも十年も二十年も前のルールにしばられていては困ります。

方々、家庭の責任を放棄して、理髪店にまかせてしまうのでは困るのです。もちろん、学校にだけ責任を押し付けるのも困ります。

自由でやる気があり、町を愛してくれる中学生が育つためには、時代にあった新しい環境をつくり出し、見守っていくことが、家庭や地域のつとめだと思います。

今日のように子供が減り「長男・長女の時代」になっても、親が子供一人ひとりに愛情と責任と確かな目をむけていくことの大切さは、時代を越えても変わらないことだと思います。

(教育広報委員 西澤信雄)

先日、中学校の地区懇談会があり、校則の問題が話し合われました。

頭髪の自由化について話し合われた時に、ある理髪店の方から

「自由になると困る。これは西村山郡の他の町の話だが、頭髪が自由になると、親は理髪店に短めにしてくれと電話してくるが、店に来た子供は長めにしてくれと言う。これでは結局困

るのはその板バサミにあう理髪店である。こんなことを理髪店に押しつけるのなら今のまがいい」

と話しておられました。



気持ちをひとつにして綱を引く(運動会)

120周年祝う

大谷小創立記念

十月三十一日大谷小学校(沢田宏校長)の創立百二十周年を祝う記念式典と祝賀会が同校体育館で盛大に行われました。

同小学校は、町内で最も早い明治六年六月二十日に開校しました。郡内でも左沢小、寒河江小、柴橋小に次いで「四番校」として開設されました。

当日は清野町長ら約七十名の来賓が見守るなか、百六十五名の全校生による合唱が披露され、明るく力強い歌声が体育館一杯に響き渡りました。



思いを新たにした記念式典



栗木沢/志藤 政尚さん 優子さん

さややか新婚さん

「初詣に買った『おみくじ』がなんと二人とも『大吉』だったんですよ」と、終始笑い声の絶えない政尚さん優子さんご夫妻。

高校時代、根っから真面目だったという優子さんに、消しゴムを投げつけていたずら三昧に明け暮れたと語る政尚さん。実は、その消しゴムのキャッチボールが二人の引き合う心を少しずつ決定的なものにしていったようです。

子どもは最低「2人」という政尚さんに、子どもはやっぱり「いっぱい」ほしいとそばで不満げに答える優子さん。そんな優子さんの心を即感知した政尚さんは、優子さんと一緒にアツという間に茶の間から姿を消してしまいました。(早坂健一 広報委員)

人口と世帯数

●平成5年10月31日現在

Table with population and household data for October 31, 1993. Includes rows for total population, male, female, and households, with monthly change indicators.

十月十三日、大江町ふれあい会館で開催された山形県青少年健全育成県民大会の席上、山形県あすをきずく青少年県民会議の青少年団体体育成功労賞が村山征一さんに贈られました。この度の表彰は、村山さんの長年にわたる大谷剣道スポーツ少年団指導者としての活躍が認められたものです。



村山征一さん

村山征一さん(大谷七)に 青少年団体体育成功労賞

春夏秋冬

編集後記

いとは思っていませんでした。「地球にやさしい活力の町」を掲げ、自然環境を大切にしながら自然とともに生きていくこととしている町なのに、何と悲しいことでしょうか。これから、ますます自然を求める観光客が町にやってくることを予想されます。楽しむだけ楽しんで、ゴミの山を残されるようであってはならないと強く感じました。(K)

紅葉の写真を撮るため木川方面へ。朝日鉱泉までの途中、朝日川に下りたり、山に登ったり何カ所かで撮影を試みました。湖面に映える紅葉をねらって、木川ダム湖畔に下りたのですが、あたりを見回してびっくり。ビールやジュースの空き缶、ビニール袋などが足の踏み場もないほど散乱しています。以前から釣り人のマナーの悪いことは聞いていましたが、これほどひどく



おしあわせに

(婚姻届)

Table listing marriage registrations with columns for district name, bride's name, groom's name, and parents' names.



すこやかに

(出生届)

Table listing birth registrations with columns for district name, child's name, and parents' names.



やすらかに

(死亡届)

Table listing death registrations with columns for district name, deceased name, and family name.



町社会福祉協議会へ寄付

・日東食品大谷工場の従業員のみなさんから文化祭バザーの益金十四万円を寄付いただきました。ありがとうございます。
■町育英会へ寄付
・常盤の佐竹伸一さんより現金一万円をいただきました。